

試験圃場

2,570 千円

なお、地下ダム建設工事の施工管理部分は全面的に日本からの技術者が行ったが、その人件費は上記の費用に含まれていない。

#### 8-5. 維持管理体制に関して

本モデル事業では、給水施設の利用が開始された段階で、給水先の Kombangbedo 村住民によって「給水施設管理委員会」が組織された。この委員会により料金の徴収が行われており、また、給水施設の「掃除当番」も組織されている。

一方、太陽光発電施設等の高度な技術が用いられている施設については、現地住民だけでは補修等の対応は困難と思われるため、ブルキナ・ファソ国政府の関与など、より長期的な維持管理体制の構築が必要と思われる。

なお、本事業で設置した太陽光発電施設では、太陽光発電において故障しやすい「夜間用蓄電池」は用いていない。

このように、地下ダムを含め、水資源の維持管理には、現地住民及び現地政府のオーナーシップが不可欠である。地域社会・住民を主体としたアプローチを基本とし、計画段階から住民のオーナーシップを確保することが望まれる。